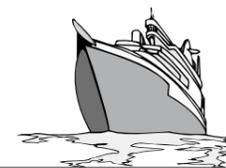


**PEACE
BOAT**

PHOTO : PEACE BOAT

水先案内人紹介



第10回ピースボート日韓クルーズ
PEACE & GREEN BOAT 2017

水先案内人とは…?

ジャーナリスト、エンターテイナー、作家、NGO活動家、大学教授——。国内外の各分野の専門家が、クルーズの一区間に乗船します。ピースボートの洋上では水先案内人による、訪問する国々の文化や社会問題をわかりやすく、かつ鋭く語る講座や、イベントが目白押しです。「先生」ではなく、「同航者」の一人として、ピースボートの船旅をより有意義なものへと導くナビゲーターの皆さんを、ピースボートでは「水先案内人」(通称:水案[みずあん])と呼んでいます。

神戸 → 神戸

片岡英夫 KATAOKA Hideo

NPO法人世界遺産アカデミー認定講師



「旅行地理検定試験」の1級試験で日本一位を獲得し、海外旅行地理博士の称号を得る。以後、5期連続日本一になり、日本で初めて海外旅行地理名誉博士の認定を受ける。世界遺産検定の最高位「世界遺産検定マイスター」に合格。これまで300以上の世界遺産を見聞し、全国各地で生涯教育講座を行い、カリスマ講師として人気を博す。ラジオ・テレビ番組に多数出演。千葉生涯大学非常勤講師、世界遺産アカデミー認定講師。道の駅オライはすぬま観光大使。

神戸 → 神戸

鎌田慧 KAMATA Satoshi

ルポライター



日本の社会派ルポライターの代表的存在。原発、教育、労働などをテーマに、現場に密着した取材を続けている。東日本大震災に伴う東電・福島第一原発事故を受け、2011年6月より、作家の大江健三郎さん、音楽家の坂本龍一さんらと共に、政府に脱原発への政策転換を求める「さようなら原発1000万人運動」を展開、呼びかけ人をつとめる。主な著書に、『狭山事件の真実』(岩波現代文庫)、『原発暴走列島』(アストラ)、『沖縄—抵抗と希望の島』(七つ森書館)など。

神戸 → 神戸

安富歩 YASUTOMI Ayumu

東京大学東洋文化研究所教授



京都大学経済学部を卒業後、大手銀行に勤務。2年半で退社し、京都大学大学院経済学研究科修士課程を修了。名古屋大学助教授などを経て、2009年より現職。学位論文『「満洲国」の金融』(創文社)で第四十回日本経済新聞経済図書文化賞を受賞。2013年より、自身がトランスジェンダーであることを知り女性装で過ごしている。著書に、『ありのままの私』(ぴあ)、『生きる技法』(青灯社)、『老子の教えあるがままに生きる』(ディスカバー21)など。

神戸 → ウラジオストック

安田浩一 YASUDA Koichi

ジャーナリスト



1964年生まれ。『週刊宝石』『サンデー毎日』など週刊誌の記者を経てフリージャーナリストとして活動。各種事件や外国人労働者問題などをテーマに取材活動を続け、記事『ルポ外国人「隷属」労働者』で第46回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞し、「ネトウヨ」とされる在特会取材した『ネットと愛国』(講談社)で2012年の講談社ノンフィクション賞を受賞。その他の著書に、『ヘイトスピーチ「愛国者」たちの憎悪と暴力』(文春新書)、『差別と貧困の外国人労働者』(光文社)、『沖縄の新聞は本当に「偏向」しているのか』(朝日新聞出版)など。

神戸 → 函館

李泳采 LEE Youngchae

恵泉女学園大学准教授



韓国全羅南道生まれ。1998年来日。慶応義塾大学大学院修了(政治学専攻)。専門は日韓・日朝関係。東アジア国際政治。韓国新聞のコラムニスト、日韓の市民団体のコーディネーター、韓国映画や映像を通して現代韓国社会を語る市民講座の講師、テレビのニュースのコメンテーターなどを務めている。現在恵泉女学園大学国際社会学科准教授。主な著書に、『アングリーヤングボターズ—韓国若者たちの戦略的選択』(梨の木舎)、『なるほど!これが韓国か—名言・流行語・造語で知る現代史』(朝日選書)、『東アジアのフィールドを歩く—女子大学生がみた日・中・韓のすがお』(梨の木舎)など。

函館 → 境港

宮本節子 MIYAMOTO Setsuko

フリーソーシャルワーカー



地方公務員福祉上級職から全国社会福祉協議会社会福祉研修センターを経てソーシャルワーカー育成に携わる。現在、「ポルノ被害と性暴力を考える会」世話人。女性や子どもに対するポルノ被害や性暴力を訴える社会活動に取り組む。著書に、『地域に拓かれた施設づくり』(全国社会福祉協議会)、『証言・現代の性暴力とポルノ被害』(東京都社会福祉協議会、共著)、『ソーシャルワーカーという仕事』(筑摩書房)、『AV出演を強要された彼女たち』(筑摩書房)など。

神戸 → ウラジオストック

ちゃんへん. CHANG-HAENG

世界的パフォーマー



ジャグリングにダンスの要素を取り入れ、圧倒的なスキル、驚異的なスピードで魅せる独自のパフォーマンススタイルに特徴を持つエンターテイナー。数々のパフォーマンスコンテストを総なめにし、これまで66の国と地域で公演を行う現在は東京ディズニーリゾートとユニバーサルシティの公認パフォーマーとして活躍中。船内で行われるオリジナルパフォーマンス「The Panic Art」は必見。公式ホームページ <https://www.thepanicart.com/>

神戸 → 函館

金朋央 KIM Boongang

コリアNGOセンター東京事務局長



1974年富山県生まれ。韓国籍の在日コリアン三世。在日コリアンの学生団体、青年団体を通じて約20年間、若い世代の教育活動に携わり、現在NPO法人コリアNGOセンターの東京事務局長。外国人の人権保障、差別撤廃、過去清算、日韓の市民交流・連帯促進などを目指して活動している。事務所がある新宿区では、外国ルーツの子どもたちの学習支援教室や、多文化共生関連の諸会議の委員も務める。外国人労働者連帯会が毎年発行する「日本における外国人・民族的マイノリティ人権白書」の企画・編集も担当。

函館 → 境港

今井紀明 IMAI Noriaki

認定NPO法人DXP代表



1985年生まれ。高校生のとき、イラクの子どものために医療支援NGOを設立。当時紛争地域であったイラクへ渡航。現地の武装勢力に人質として拘束され、帰国後「自己責任」の言葉のもと、日本社会から大きなバッシングを受ける。通信制高校の生徒が抱える課題に出会い、親や先生から否定された経験を持つ生徒たちと自身の経験が重なり、通信制高校の高校生向けのキャリア教育事業を関西で展開し始める。「ひとりひとりの若者が自分の未来に希望を持てる社会」を目指して行動している。

函館 → 釜山

林篤志 HAYASHI Atsushi

Next Commons Lab代表



豊田高専卒業後、エンジニアを経て独立。2009年、「自由大学」の立ち上げに参画。2011年、高知県土佐山にて「土佐山アカデミー」を共同創業。2016年、自治体・民間企業・起業家など多様なステークホルダーを巻き込みながら、ポスト資本主義社会を具現化するための社会OS「NextCommons Lab」プロジェクトを開始。

公式ホームページ <http://nextcommonslib.jp/>

麗水 → 釜山

イ・ヒョジェ LEE Hyojae

(株)ヒョジェ代表、韓服デザイナー



韓服デザイナー。株式会社ヒョジェを運営している、韓国を代表するボジャギ(風呂敷)アーティスト。「女性なら夢見る、ヒョジェの美しい生活の秘密」という副題で『ヒョジェのように生きよう』という本を出版した。現在、26年放送され続けているテレビ番組「6時!我がふるさと」のレギュラーゲストとして出演している。

麗水 → 釜山

キム・ウンギョン KIM Eunkyung

ワイヤーアーティスト



日常の中で役割を果たして捨てられたワイヤーを集めて小鳥や花、木などを誕生させるワイヤーアーティスト。世界各地を周りながら作品やワークショップを通じてレイチェル・カーソンと彼の業績を伝えている。2013年3月に韓国の大学路(デハン口)のギャラリーで「レイチェル・カーソンへの手紙」というタイトルで初の個展を開いて以来、生物種の多様性、共存、バランスなどの価値について考えをめぐらせながら、さまざまなオブジェを作り出している。

麗水 → 釜山

キム・ヨンシン KIM Yongshin

CBSアナウンサー



CBS放送局のアナウンサー。1996年に「朝日が昇るとき」番組を担当し、「統一に向かう道」(1997年)、「愛の歌 平和の歌」(1999~2000年)などの番組を進行した。2000年に特集「2000年南北平和作り」の製作参加によりマスコミ労働組合連盟、記者協会、PD協会から与えられる統一言論賞を受賞し、2010年には韓国アナウンサー大賞の授賞式でラジオ司会者賞を受賞した。現在、CBS音楽FM「彼と迎える朝」でDJとして活動中である。

麗水 → 釜山

キム・ハンジョン KIM Hanjung

共に民主党・国会議員



韓国の政治家。キム・デジュン大統領時代に青瓦台第1付属室長を務め、環境財団企画委員と延世大学の客員教授として多数のメディアに寄稿、放送出演、講演などの活動を行っている。第20代国会議員として選出された後、国会予算決算特別委員会の委員、国会運営委員会の委員、「パク・クネ政府、チェ・スンシル国政壟断」国政調査特別委員会の委員をするなど、活発な議政活動を広げている。

麗水 → 釜山

ウン・ヒギョン EUN Heekyung

作家



1995年東亜日報新春文芸に中編「二重奏」が入選、文壇デビュー。代表作には『鳥の贈り物』、『他人への話しかけ』、『さりげない人生』などがある。東仁文学賞、李箱文学賞、黄順元文学賞などを受賞し、文学性を認められた。つまらない日常をユーモラスで生き生きと描いた作品が人生の奥底と向き合わせてくれる。

麗水 → 釜山

キム・ヨニ KIM Yeunhee

大邱大学校社会福祉学科教授



主な研究テーマは、移住民と難民のメンタルヘルス、北朝鮮からの脱北民・結婚移住女性など、移住者を含むさまざまな文化的少数者のアイデンティティ、心理社会的な適応など。米カリフォルニアでアジアからの移住者や東南アジアからの難民のためのメンタルヘルスサービス機関を運営した。現在は大邱大学校社会福祉学科教授として在職中であり、日本に住む日韓・韓日の国際結婚家庭におけるアイデンティティ交渉過程に関する研究を行っている。

麗水 → 釜山

キム・ヒョンジョン KIM Hyunjung

CBSプロデューサー



CBS放送局のラジオアナウンサーでありプロデューサー。2001年、CBSに入社し、「第5回女性部男女平等放送大賞優秀賞」(2003年)、「第35回韓国放送大賞ラジオ時事教養部門作品賞」(2008年)、「韓国PD大賞今年のPD賞」(2014年)など、数多くの受賞経歴を持つ。CBSラジオ番組の「イシューと人間」、「キム・ヒョンジョンのニュースショー」の演出と進行を担当し、現在は「キム・ヒョンジョンのニュースショー・シーズン2」を進行中である。

麗水 → 釜山

キム・ブギョン KIM Bookyoung

ブズ代表



キャラクターデザイナーであり、『プカ(Pucca)』で有名な(株)ブズ代表。『プカ』は数多くのキャラクターの企画と開発を担当し、文化コンテンツ海外進出における輸出の遺功部門で大統領表彰だけでなく国際フラッシュアニメーション映画祭でグランプリを受賞するなど国内外で有数の受賞経歴を持っている。現在、著作権委員会の広報大使、インチョン、チャイナタウンの広報大使、ソウルブランド推進委員会の委員などとして活動している。

麗水 → 釜山

グァク・ドンホ KWAK Dongho

マジシャン



ヒゲのマジシャンとして知られ、パントマイムの動きとストーリーのあるマジックを専門とするマジシャンとして、私たちが忘れていたそれぞれの夢をマジックという名の幻を通じて、再び見させてくれる。マジックグループ「マジックプレー」の代表と、クリエイティブ集団「ソウォル路上のビニールハウス」の代表を経て、現在は「ヒゲマジック流浪団」の団長として活動している。

麗水 → 釜山

シン・キョンジュン SHIN Kyungjun

韓国環境教師会・スポークスマン



ソウルの崇文(スンムン)中学校の環境教師。2013年、中学技術科教科書の代替エネルギー関連記述を分析した論文で、原子力に対する説明の誤りを指摘し成果を上げた。同年、環境財団が選定した「世界を明るくした人」の一人であり、2015年には「核なき社会のための共同行動」主催の「脱核アワード」で言行一致賞を受賞。現在は太陽の学校の事務所長、韓国YWCA連合会の常任委員、生命多様性財団の運営委員、韓国環境教師会のスポークスマンとして活動している。

麗水 → 釜山

ソ・チョンソク SUH Cheonseok

幸せな子研究所所長



国民育児サポーターとして知られており、精神健康医学科専門医、幸せな子研究所所長である。ソウル大学医学部を卒業し、同大学院で医学博士号を取得。MBC放送局の番組「わが子問題なし」、JTBC放送局の番組「TALK TO YOU」などに出演。中央日報でコラムを連載しており、SNSと講演などを通じて常に親たちとコミュニケーションをとっている。著書に『良き親ダイアリー』、『絵本で読む子供たちの心』、『心を読む時間』、『わが子大丈夫』などがある。

麗水 → 釜山

チェ・ヨル CHOI Yul

環境財団代表



韓国の代表的な環境運動家。1982年、韓国初の民間環境団体である韓国公害問題研究所を立ち上げ、環境運動連合の事務総長を経て、現在は環境財団の代表として環境保全のための活動を続けている。1995年、ゴールドマン環境賞、2014年にはシコメンデス賞を受賞。主な著書に『生きているのはすべてが美しい』、『チェ・ヨルおじさんの地球温暖化物語』などがある。

麗水 → 釜山

コ・ヨンハ KOH Youngha

韓国エンジェル投資協会会長



起業を志す若者たちをサポートするGo Venture Forumの会長。1ヶ月に一度、起業を夢見る若者たちと直接会って、会話を交わし、マーケティングと広報の観点からアドバイスを与える。また、韓国エンジェル投資協会の会長も兼任し、ベンチャー企業の育成に関わる教育を起業家予備軍に提供し、企業と起業家を結ぶネットワークの橋渡し役を担っている。SKブロードバンドメディア、ハナロメディア、Celrun TVなどの企業で会長を歴任した。

麗水 → 釜山

ソン・キリョン SONG Gilyoung

(株)DAUM SOFT副社長



人の心を読み取るMIND MINERである。数多くの人びとの日常的な記録が保存されているソーシャルビックデータから人間の心を読み、解釈する仕事を数年間している。現在、(株)DAUM SOFTの副社長として働いており、韓国BIデータマイニング学会の副会長である。常に活字を読む雑食性の読者であり、異種の人びとと会ってコミュニケーションをとることを好んでいる。著書に『ここにあなたの欲望が見える!ビックデータから見つけた70億の欲望地図』と『想像するな!彼らが話していない本当の欲部を見る方法』がある。

麗水 → 釜山

チェ・ガンウク CHOE Kangwook

法務法人チョンメク弁護士



法務法人チョンメク所属の弁護士。国家人権委員会の人権教育専門委員として活動した経験があり、第18代国会倫理特別委員会の倫理審査諮問委員会の委員を歴任した。放送文化振興会の理事としても活動している。主な著書に『権力と検察』、『法律は政治を裁けるのか』などがある。

麗水 → 釜山

チョ・ジンマン JO Jinman

チョ・ジンマンアーキテクト代表



「キム・スグンプレビュー建築賞」および「2015年若い建築家賞」の受賞歴があり、現在、チョ・ジンマンアーキテクトの代表兼漢陽(ハニャン)大学の建築学部の兼任教授を歴任している。ソウル特別市公共建築家として国際都市ソウルの公共空間デザインの競争力強化に向けてさまざまな公共事業にも活発に参加している。

麗水 → 釜山

チョ・セヨン CHO Seihon

フォトグラファー



韓国中央大学写真学科を卒業、60回を超える写真展を開いており、多数の受賞歴を持つ。大学写真学科の講師、マガジンのフォト・ディレクター、富川(プチョン)映画祭執行委員、大統領記念館諮問委員などを務め、現在は中央大学写真学科碩座教授と平昌(ピョンチャン)五輪広報大使として活動している。著書は10冊以上で、最近の作品として『Photographer's Says』と『Letter from Angels』などがある。

麗水 → 釜山

バブルドラゴン BUBBLE Dragon

パブルアーティスト



国内初のパブルアーティスト。韓国の放送局SBSの番組「スターキング」で優勝し、その他KBS「スポンジ」、KBS「5000万の一般秘密」、EBS「ドキュ人(イン)」などに出演。家族みんなを笑顔にさせるバブルドラゴンのマジック&パブルショー。今回も彼が披露する喜びと楽しさに期待が集まる。

麗水 → 函館

チョ・ユミ CHO Youmi

パブリシスワンコリア(Publicis One Korea)代表



グローバル広告コミュニケーション会社「パブリシスワンコリア(Publicis One Korea)」のCEO。韓国広告会社トップ20社のうち、唯一の女性CEOである。P&G、SK2、フィリップモリス、マクドナルドなど、韓国内外の有数企業・ブランドの広告を担当した。人間中心の経営理念のもと、人材を育成し広告業界をリードしている。

麗水 → 函館

ノ・ソヨン ROH Sohyeong

アートセンター・ナビ館長



2010年からソウル大学融合技術大学院の兼任教授、2012年からソガン大学知識融合学部アートテクノロジー専攻招聘教授を歴任し、中国TASMLにてinternational board memberと次世代融合技術院理事で在任。

麗水 → 釜山

チョン・ジェスン JEONG Jaeseung

韓国科学技術院(KAIST)バイオ・脳工学科教授



科学や人文学など、幅広い著述と講演活動を展開している著名な科学者。京畿科学高校を卒業し、KAIST物理学科で学士、修士、博士を取得。米イェール大学精神科研究員、コロンビア医大精神科助教授などを経て、現在KAISTバイオ・脳工学科の教授として勤めている。トーク番組「キム・ジェドンのTALK TO YOU」などの番組にもパネラーとして多く出演。主な著書にロングセラーの『科学コンサート』、『クロス』などがある。

麗水 → 釜山

ハン・ビア HAN Biya

世界市民学校・校長



ワールドビジョン世界市民学校の校長。約20年前、通っていた職場を辞めて世界の秘境への旅を始めた。これをもとに、『風の娘、歩いて地球三周半』を執筆し、その後韓国内外を旅行しながら本を出してきた。2001年からは国際救護団体ワールドビジョンの緊急救護チーム長として世界各地の救護の手が届いていないところで緊急救護活動を行ってきた。その後、韓国国際協力団諮問委員と国連中央緊急対応基金の諮問委員を務めた。

麗水 → 函館

ノ・ドンヨン NOH Dongyoung

ソウル大学病院ヘルスケアシステム・カンナムセンター院長



ソウル大学・医科大学国民健康知識センターの所長で、国内では乳がんの研究と診療分野の最高権威者として評価されている。韓国乳がん建国財団の理事長でもあり、乳房の乳がん予防のための情報と自己検診の重要性を広め、乳がん予防についての関心を持たせる「ピンクリボンキャンペーン」を国内で初めて導入した。現在、ソウル大学病院のヘルスケアシステム・カンナムセンターで院長を務めている。

ウラジオストク → 函館

イ・ハンチョル LEE Hanchoul

歌手



韓国を代表するシンガーソングライター。国民的応援ソング「スーパースター」は、2007年第4回韓国大衆音楽賞で、「今年の歌賞」「最優秀ポップ・シングル賞」を受賞した。希望と力を与えるシンガーソングライター、我らのスーパースター、イ・ハンチョルはPEACE & GREEN BOAT 2017の参加者とともに楽しい思い出を作っていく。

プロジェクト

日系ブラジル・ユースプロジェクト

1908年、希望を抱き多くの移民が日本からブラジルに渡りました。厳しい現実の中、農業を中心に生計を立ててきましたが、ブラジル経済が悪化した90年代、その子孫の多くが出稼ぎとして来日しました。現在、17万人以上のブラジル人が日本で生活しています。ピースボートでは2014年、在日ブラジル領事館と共催で、「日系ブラジル・ユース」プロジェクトを開始。エッセイコンクールで選ばれた若者たちが、船旅を通じ、日本の中のブラジルコミュニティや独自の経験について語り、共存について共に考える場を創ってきました。今クルーズでは、2人の日系ブラジル人の若者が乗船します。

福島子どもプロジェクト

福島原発事故から6年。ピースボートは子どもたちに保養と国際交流の体験をしてほしいという思いから震災直後から福島子どもプロジェクトを実施し、これまでに南相馬市の100名以上の中学生がピースボートに乗船しています。今クルーズでは13名の南相馬市の中・高生が乗船します。船上では、訪れる寄港地についての歴史や文化を学び、日本と東アジアの相互の関係を知るにより、東アジアが平和であることの大切さを考えます。また多国籍な人々と交流し、さまざまな異文化体験のプログラムに参加します。